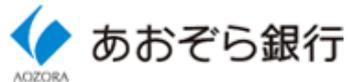


いつも、あおぞらを。

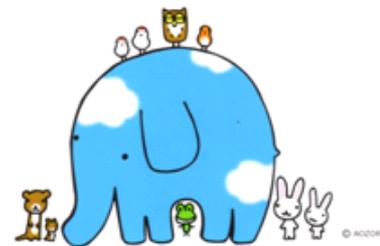


個人投資家さま向け 会社説明会

あおぞら銀行

(証券コード:8304)

2019年9月



目次

I. あおぞら銀行とは

あおぞら銀行とは	3
会社概要	4
あゆみ	5
ネットワーク	6
主な子会社	7
株主構成	8
主要他行データ	9

II. あおぞら銀行の目指す姿

目指す姿	11
ビジネスモデル	12
6つの柱：収益構造	13
注力業務	
個人業務	14
企業向けファイナンス、 スペシャルティファイナンス	20

金融法人業務	21
国際業務	22
中長期的な成長のための布石	23
業績のポイント	26
2019年度 業務運営の基本方針	29
直近の業績	30

III. あおぞら銀行の株主還元

資本政策	33
配当政策	34
配当利回り	35
株主優待制度	36
個人投資家の皆さまとのコミュニケーション	37
さいごに	38
ご参考資料	40

(注) 本資料は特段の記載等がない限り、連結ベース、計数は単位未満切捨て、比率は単位未満四捨五入で記載しております。

I. あおぞら銀行とは

II. あおぞら銀行の目指す姿

III. あおぞら銀行の株主還元

ユニークな銀行

-  メガバンクでも地域金融機関でもないユニークな存在
-  系列色のない中立的な銀行

効率的な経営

-  コンパクトな規模で、全国・海外で業務を展開
-  「選択と集中」を徹底したビジネスを展開

高度な専門性

-  伝統的な貸出とは異なる、高度な金融技術を用いたファイナンス
-  専門知識に裏打ちされた丁寧な資産運用相談業務

株式会社あおぞら銀行

設立 1957年（昭和32年）

本店所在地 東京都千代田区

総資産 5兆2,550億円

純資産 4,487億円

従業員数 2,193人

証券コード 8304（東証1部）

(2019/3末)



【写真】 あおぞら銀行本店
上智大学（四ツ谷）構内にあるソフィアタワー

日本不動産銀行

日本債券信用銀行



あおぞら銀行

1957

長期信用銀行法に基づき『日本不動産銀行』設立

1977

『**日本債券信用銀行**』に銀行名を変更

1998

一時国有化

2000

再民営化、公的資金の注入

2001

『**あおぞら銀行**』に銀行名を変更

2006

普通銀行に転換、東証1部再上場

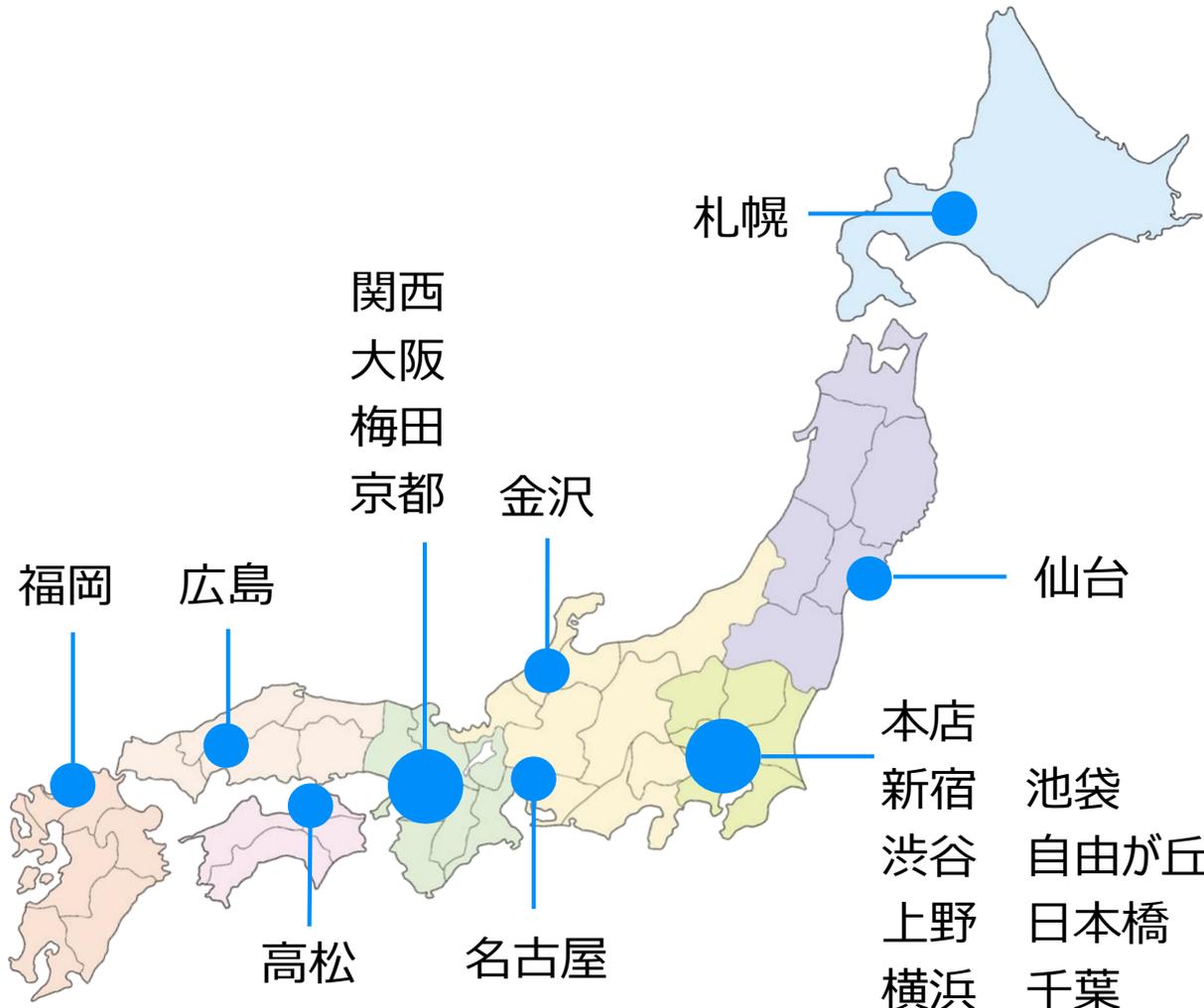
2015

公的資金の一括返済（完済）

2017

本店移転

◆ 全国の主要都市でサービスを提供



<国内>

20本支店*・1出張所

*BANK支店含む

<その他のチャネル>

- ◆ コールセンター
- ◆ インターネットバンキング
- ◆ ゆうちょ銀行・郵便局、ATM (29,837台*)
- ◆ セブン銀行ATM (25,152台*)

**2019/3末

<海外>

3駐在員事務所・2現地法人

- ◆ ニューヨーク
- ◆ 上海
- ◆ シンガポール
- 香港
- ロンドン

◆ グループ一体で、商品・サービスを提供



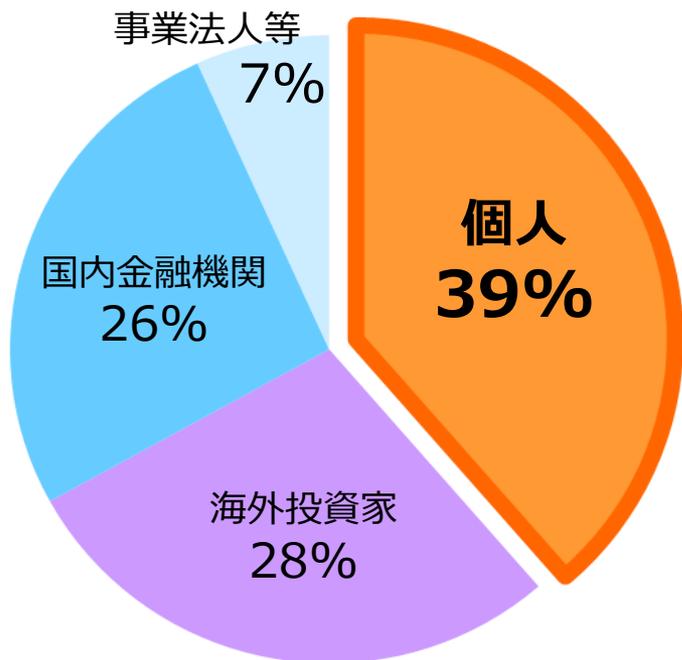
* 2018年6月に「あおぞら信託銀行」から社名変更

	総資産 (兆円)	時価総額 (億円)	PBR (倍)	PER (倍)
三菱UFJFG	311.1	71,646	0.4	7.2
三井住友FG	203.6	53,285	0.5	7.4
みずほFG	200.7	39,206	0.4	40.0
りそなHD	59.1	10,328	0.5	7.2
新生銀行	9.5	4,274	0.4	7.3
コンコルディアFG	18.9	4,795	0.4	8.9
千葉銀行	14.9	4,538	0.4	8.3
あおぞら銀行	5.2	2,954	0.6	8.0

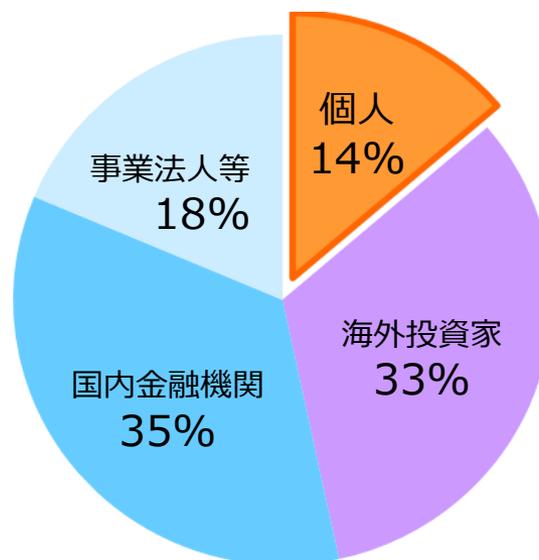
(出所) 総資産：決算短信（2019/3末）
 時価総額、PBR、PER：Bloomberg（2019/7/31現在）

◆ 高い個人株主の比率

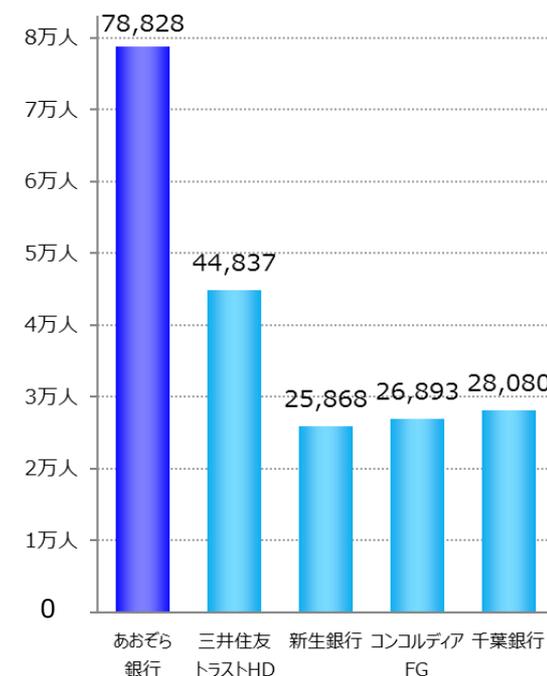
あおぞら銀行



主要行・
大手地銀平均



(参考) 個人株主数



出所：当行（2019/3末）、他行（有価証券報告書、2019/3末）

主要行は、三菱UFJFG、みずほFG、三井住友FG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行

大手地銀は、ふくおかFG、コンコルディアFG、めぶきFG、千葉銀行、ほくほくFG（総資産上位5社）

比率は個人・海外投資家・国内金融機関・事業法人等の所有株式数(単元)を合計株式数(単元)(自己株式除く)で除して算出

I. あおぞら銀行とは

II. あおぞら銀行の目指す姿

III. あおぞら銀行の株主還元

進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」として
持続的な成長を図り、我が国の経済・社会の発展に貢献

環境認識

- 厳しい経営環境が継続
- デジタル化の進展、新たなトレンド
- 国際金融規制強化の動き

基本的な考え方

- 1 ビジネスモデル「6つの柱」における選択と集中の徹底
- 2 中長期的な成長のための布石
- 3 健全なリスクテイクを支える
リスク管理の実践

ビジネスモデル「6つの柱」における選択と集中の徹底

- お客さまニーズを的確に捉えた商品・サービス提供
- 顧客層の拡大
- 長年の取組実績・強みをさらに強化
- 新たな投融資機会への選択的取組み

個人業務

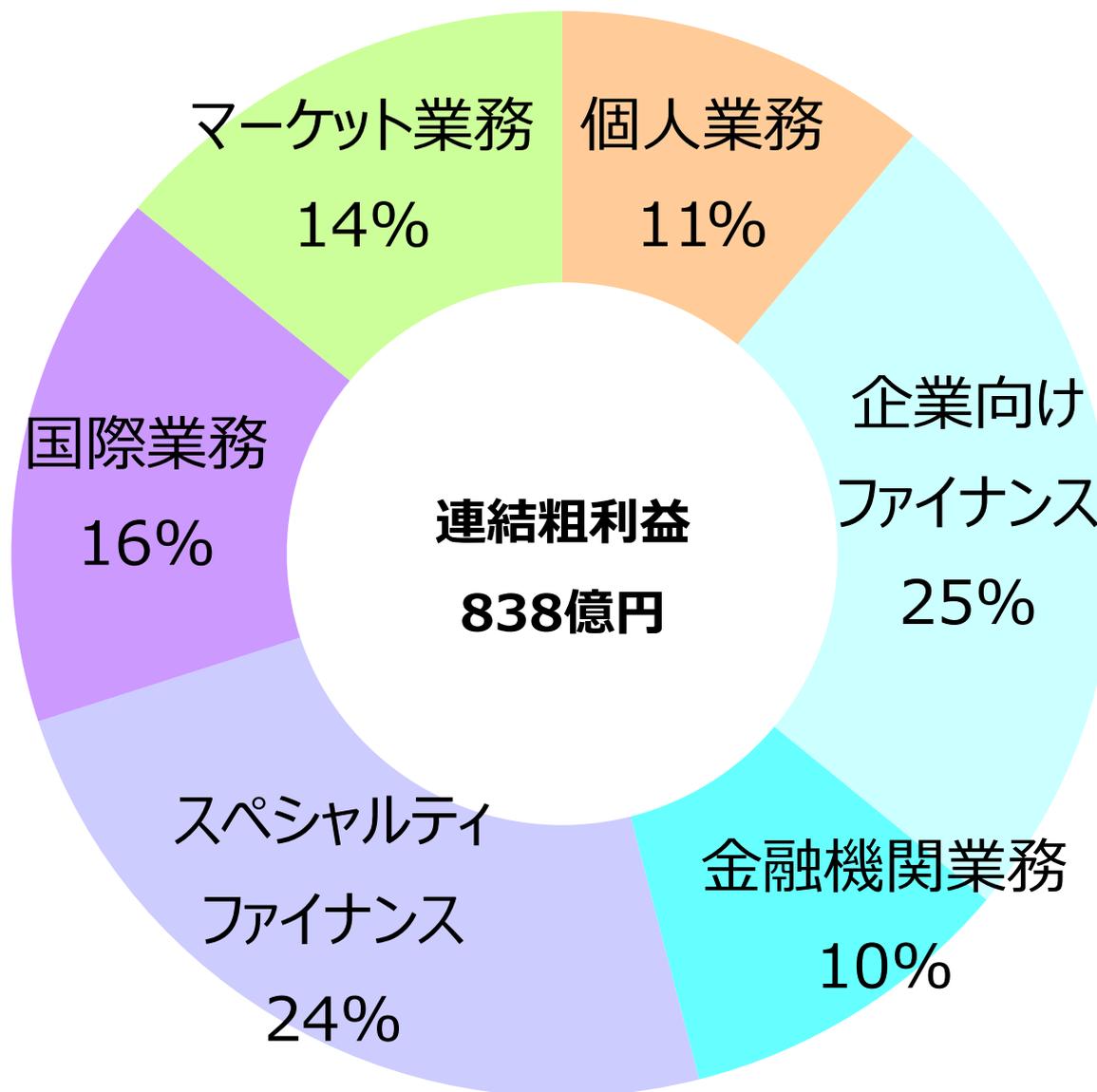
スペシャルティファイナンス

企業向けファイナンス

国際業務

金融機関業務

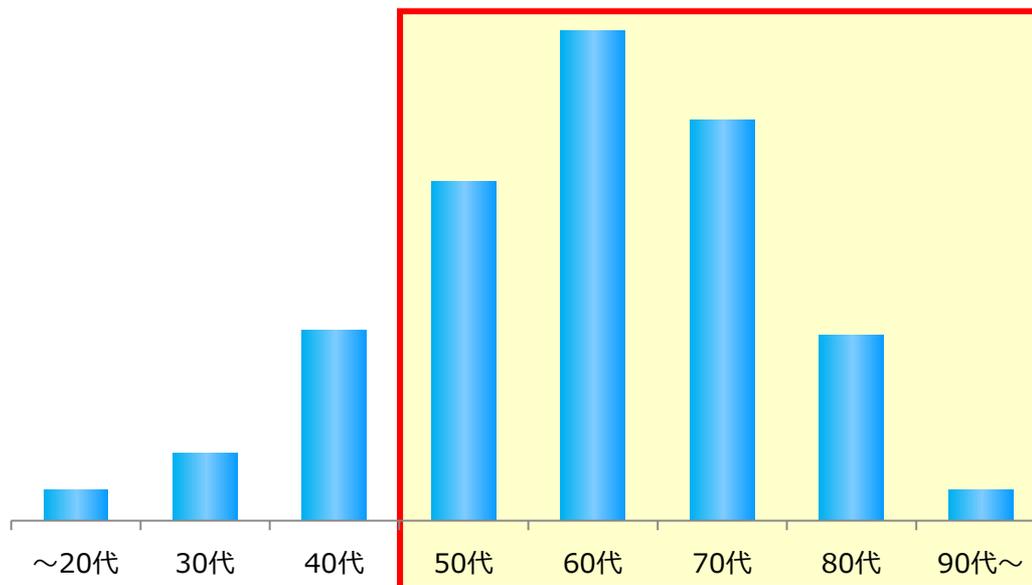
マーケット業務



(2018年度実績)

◆ 当行の顧客基盤は50代以上のお客さま

<年齢別預り資産残高*>



預り資産残高 (全体) の8割超

* 預金 + 投資性商品(投資信託+保険+仕組債) (2019/3末)

<平均預金残高>

お客さま1人当たり 預金残高	
あおぞら銀行	545万円
国内銀行平均**	61万円

** 出所：日本銀行統計(2019/3末)
預金者別預金(個人)より金額合計/口数合計

◆ 商品ラインアップの拡充

資産運用相談業務

預金

投資信託

保険

仕組債



Brilliant 60s 定期LP
ブリリアント・シックスティーズ

期間1年【半年複利型】
 2019年9月1日現在の適用金利 預入金額1,000万円または500万円

円定期預金
(一部解約可能型定期預金)

年0.30%
(税引後年利回り0.239%)

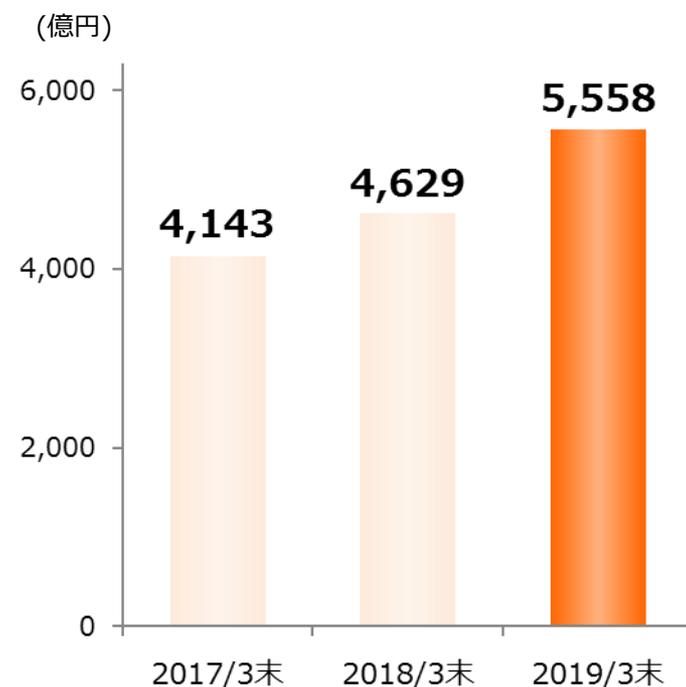
当行と初めてお取引いただく[※]満40歳以上のお客さま限定
※口座解約後6か月以上経過しているお客さまを含みます。

* 本ページ記載の商品や配布するパンフレット・チラシ等は、当行の業務内容をご理解頂くための見本であり、個別商品の勧誘を目的とするものではありません。また最新のものではない可能性がございますので、ご注意ください。

◆ シニアのお客さまにフォーカスした総合コンサルティング

- お客さま本位の業務運営の徹底
- 資産運用、資産承継ニーズに対応
- コンサルティングの品質向上
ファイナンシャルプランナー常駐の店舗拡大
- 営業時間の拡大

リテール関連投資性商品*の
預かり資産残高



*投資信託+保険+仕組債

日経ヴェリタス「第14回銀行リテール力調査」

日本経済新聞社・日経リサーチ共同調査

店頭サービスランキング 全国 1 位
(116行中)

◆ 人の集まる店舗へ



◆ 素晴らしい人生のためのマネーサービス「BANK」の提供開始

- スマートフォンアプリを軸とした新しいサービス
- シンプル・スピーディ・スマートにお届け

BANK™
BY AOZORA BANK

素晴らしい人生のためのマネーサービス

普通預金

年 **0.2%**

(税引後年0.159%)

2019年7月16日現在 変動金利



* 本ページ記載の商品や配布するパンフレット・チラシ等は、当行の業務内容をご理解頂くための見本であり、個別商品の勧誘を目的とするものではありません。また最新のものではない可能性がありますので、ご注意ください。

BANK™ The Debit

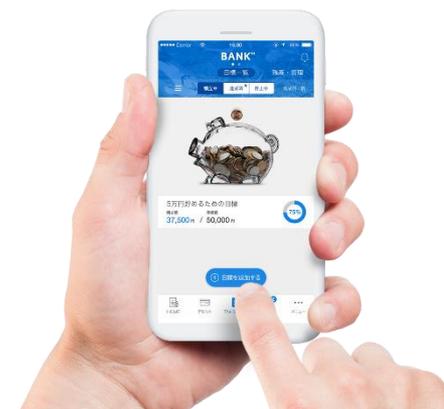
貯まりやすい、使いやすい、
“キャッシュレスサービス”の決定版



BANK™ The Savings

(特許出願中)

知らず知らずのうちに
貯まる「自動積立貯金箱」



BANK™ The Story

人生を豊かにする
お金の使い方を提案



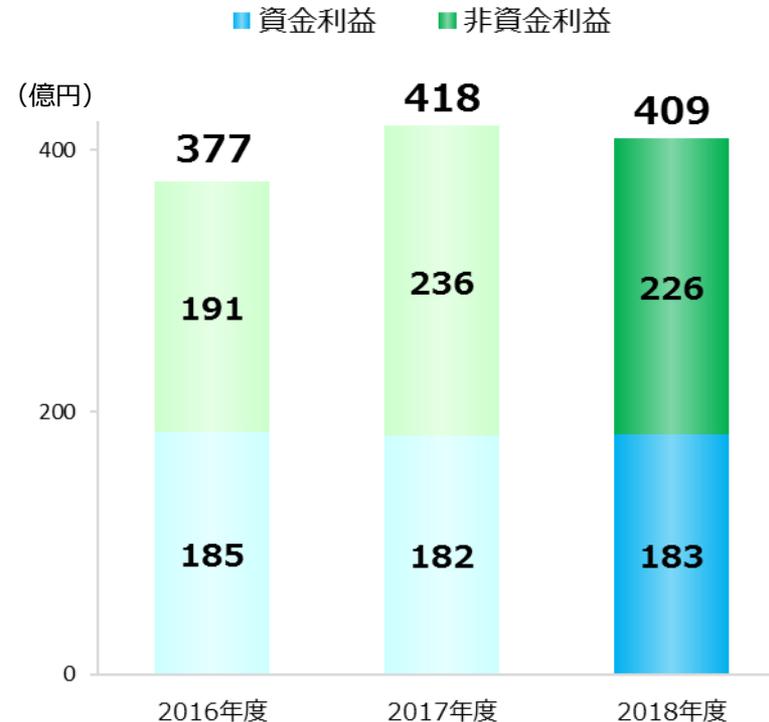
◆ 経常的な貸出に依存しない取引スタイルの確立

- 不動産ファイナンス・事業再生ビジネスのさらなる推進
- 成長企業への出資
(プライベート・エクイティ投資)
- M&A・事業承継ソリューションの強化



**収益源の多様化を推進
バランスの取れた収益構造を構築**

企業向けファイナンス・スペシャルティファイナンスの収益構成



◆ グループ一体で地域金融機関の運用サポートを一層強化

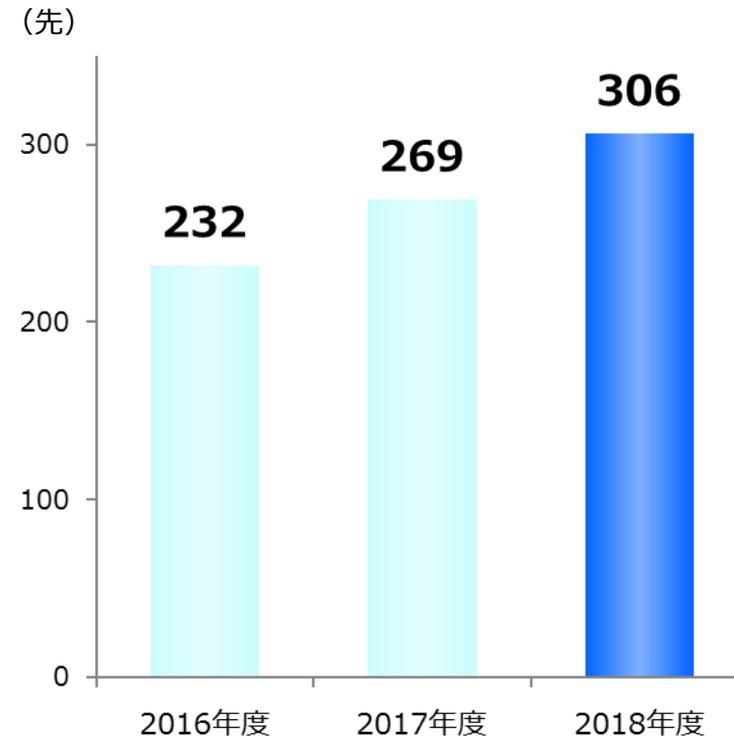
◆ 地域金融機関との協働ビジネスの推進

- ABNアドバイザーズのM&Aに係る業務提携
： 70先と提携 (2019/7末現在)



取引の多様化による
収益機会の多様化

金融法人向け
デリバティブ内蔵商品販売先数



◆ リスク・リターンの高いポートフォリオ

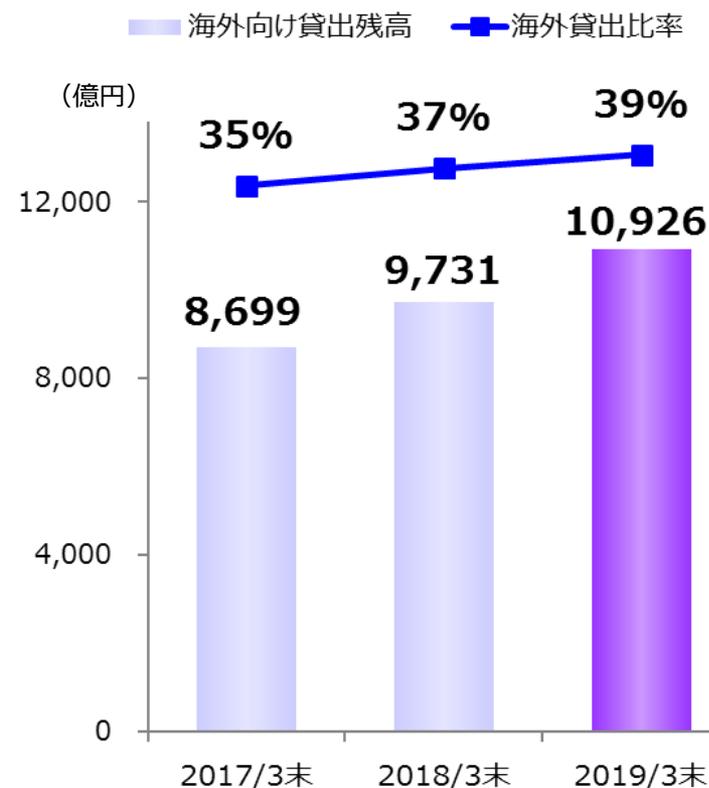
- 海外向け貸出のうち約8割が北米向け
- リスクリターンの良好なコーポレートローンを中心に選択的に取り上げ
- リスク管理体制の強化

◆ 国際業務基盤のさらなる強化

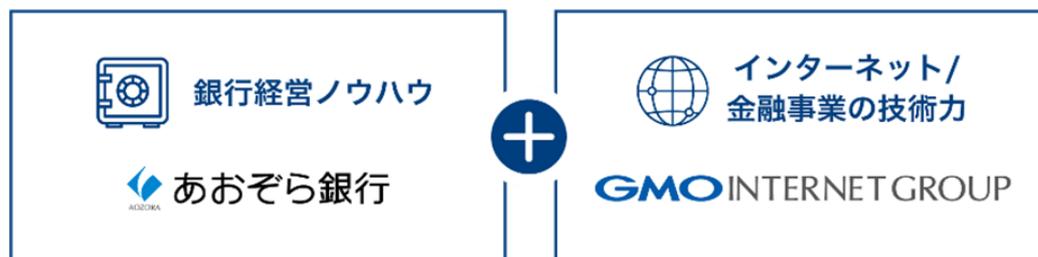


**リスク耐性の高い
ポートフォリオの構築**

海外向け貸出残高

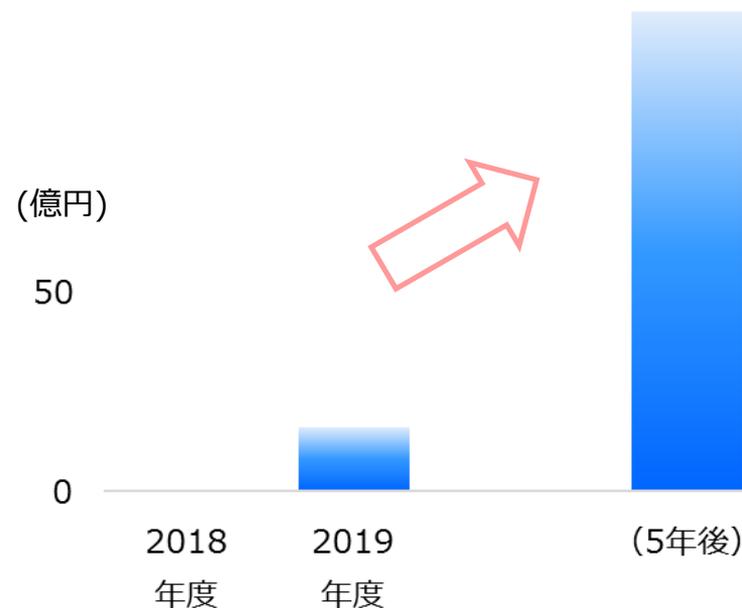


① GMO あおぞらネット銀行



GMOあおぞらネット銀行 粗利益成長イメージ

- 事業開始 : 2018年7月
- 中小事業者向け中心のサービス
 - ✓ 振込入金 (バーチャル) 口座の提供に注力



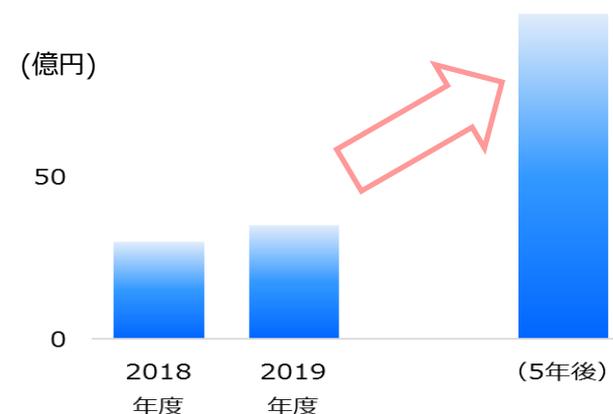
② M&Aアドバイザー/ プライベート・エクイティ(PE)投資

- 地方企業の事業承継ニーズの取り込み
- プライベート・エクイティ投資による事業価値の向上
- 3～5年で収実化

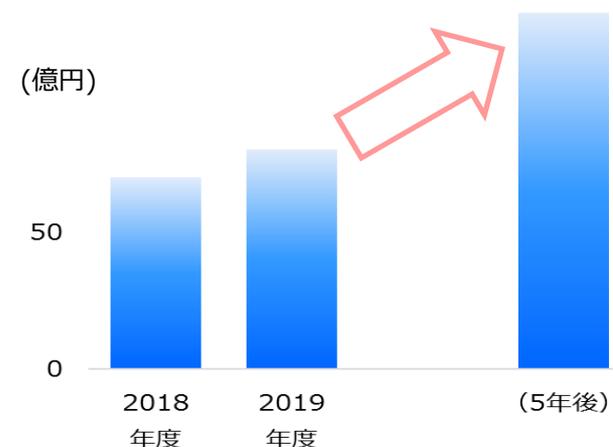
③ 事業再生ビジネス

- 地域金融機関との協働による再生ファンド活用
- 海外NPL投融資

M&Aアドバイザー/PE投資
粗利益成長イメージ

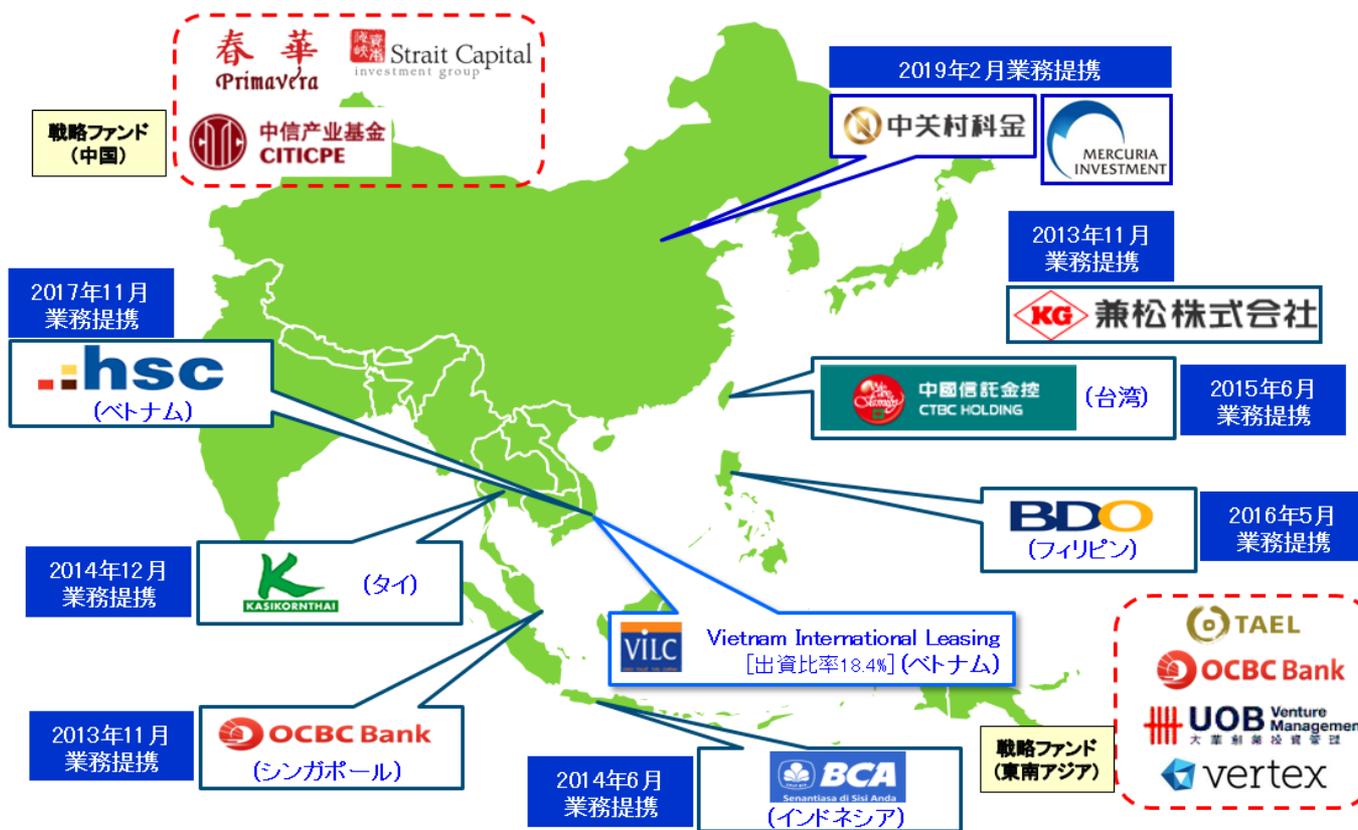


事業再生ビジネス
粗利益成長イメージ

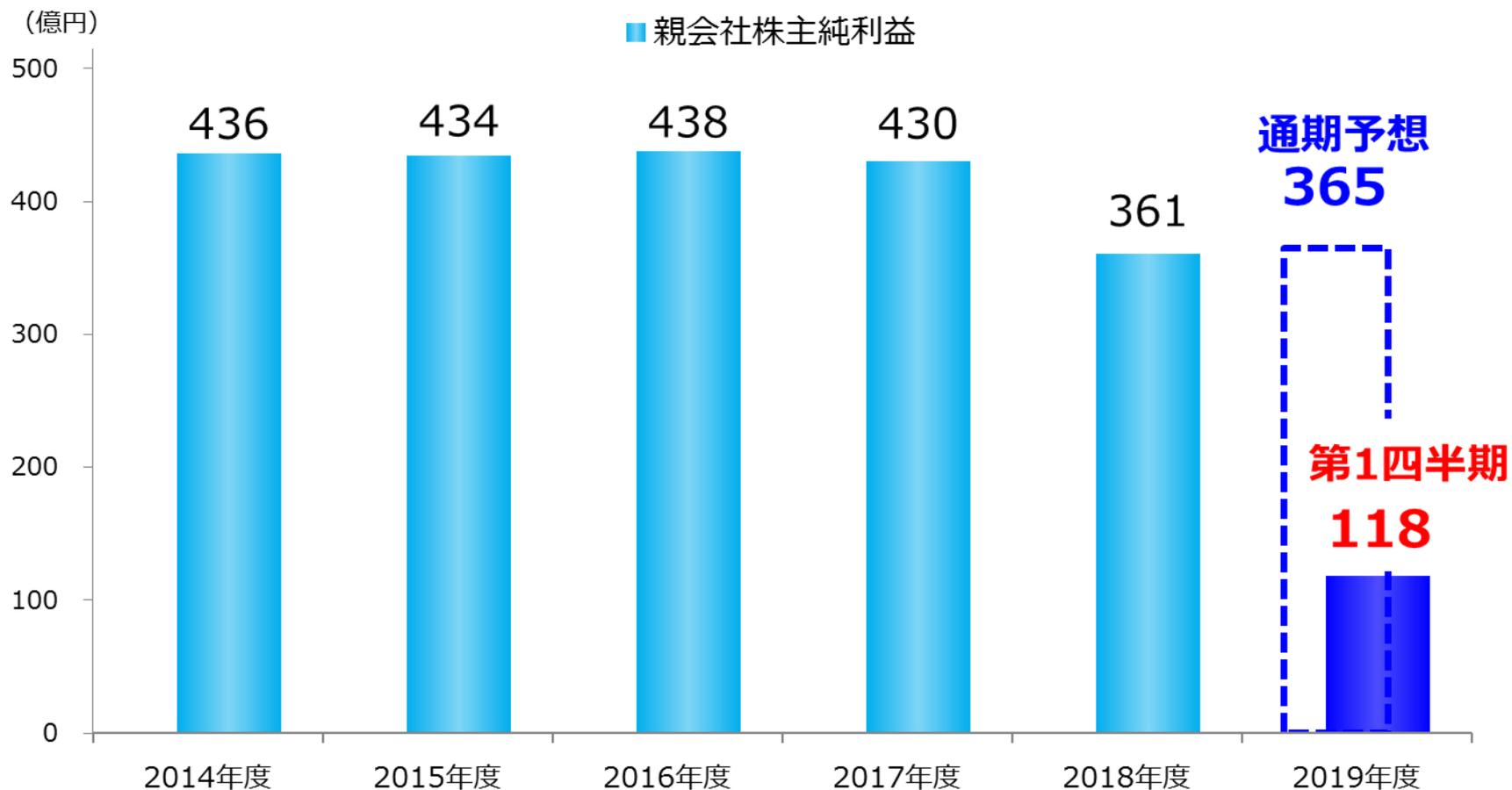


④ アジアにおける投資機会の捕捉

- アジアの成長の取り込み
- 現地出資先や提携先のネットワークを活用



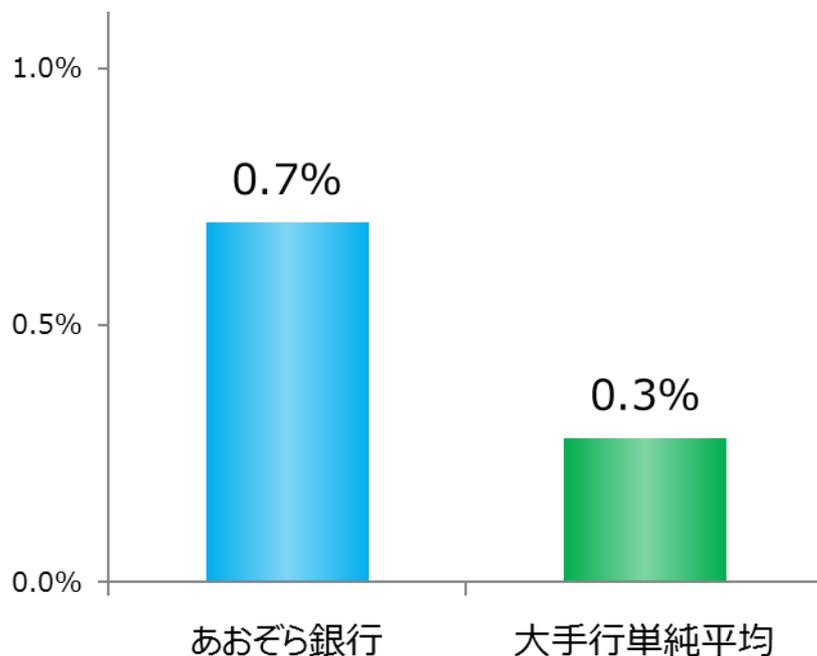
◆ 利益水準の推移



* 本資料においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社株主純利益」と記載しております

◆ 高い収益性、資本効率性

総資産利益率 (ROA) *1

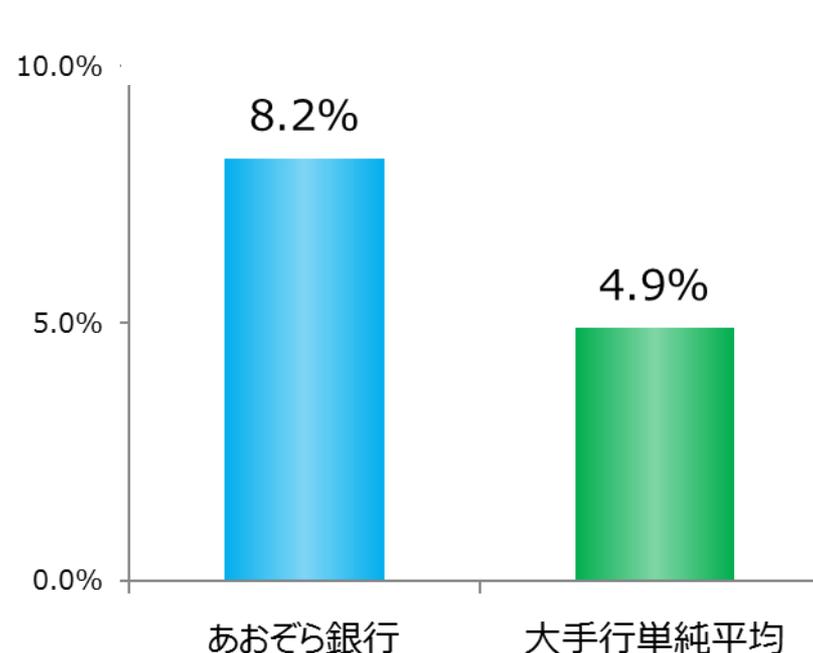


(2019年3月期)

出所 : 国内各銀行HP

大手行 : 三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三井住友信託銀行、新生銀行 (いずれも連結ベース)

純資産利益率 (ROE) *2

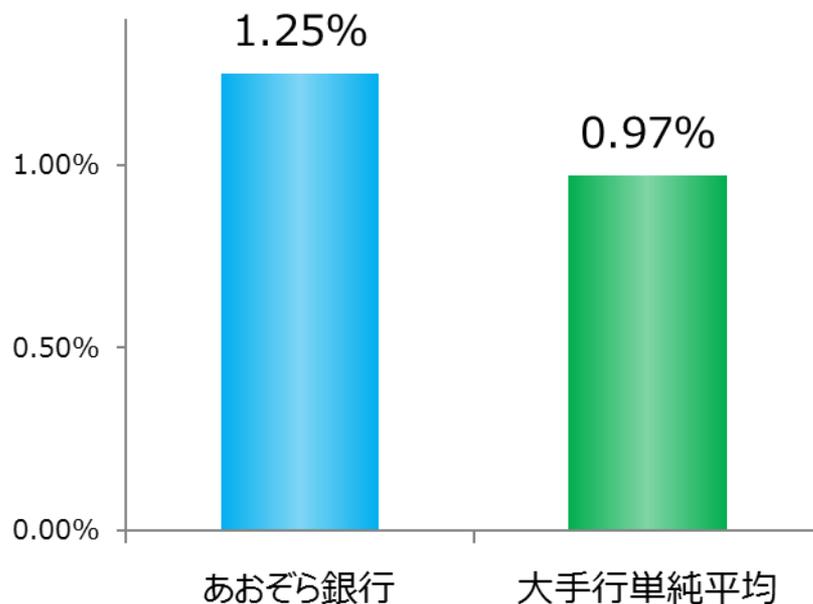


*1 親会社株主純利益を総資産で割ったもの。ROAが高い程収益性が高い。

*2 親会社株主純利益を純資産で割ったもの。ROEが高い程効率的に株主資本を活用できていることを示す。

◆ 高い収益性、効率的な業務運営

資金粗利鞘 (NIM) *1

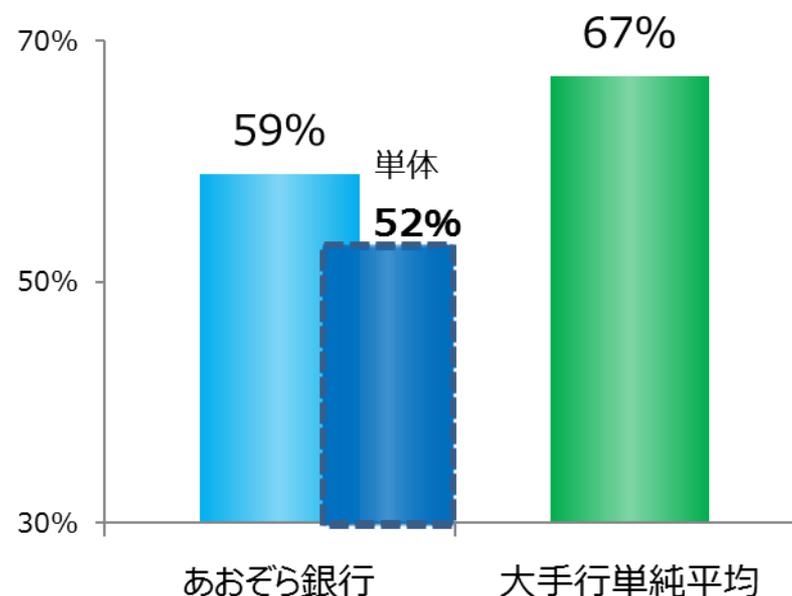


(2019年3月期)

出所 : 国内各銀行HP

大手行 : 三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三井住友信託銀行、新生銀行 (いずれも連結ベース)

経費率 (OHR) *2



*1 貸出や有価証券等の利回りから預金等の調達コストを差し引いたもの。収益力を表す。

*2 経費の粗利益に対する比率を表す。経費率が低い程、少ない経費で利益を上げていることを示す。

収益目標の着実な達成

- 効率的で実効性の高いビジネスモデルの構築
- 新たなビジネス開拓に向けたこれまでの先行投資の収実化
- 一層の予兆管理の徹底

(億円)

	2018年度 実績	2019年度 第1四半期 実績	2019年度 予想
連結粗利益	838	233	880
経費	-494	-123	-530
連結実質業務純益	344	110	350
親会社株主純利益	361	118	365

主要業績評価指標 (KPI) 等

	2018年度 実績	2019年度 第1四半期 実績	中期目標 (2018-20年度)
資金粗利鞘	1.25%	1.22%*	1.2% 程度
非資金利益率	40%	46%	45-55% 程度
経費率 (OHR)	59.0%	52.8%	50% 程度
ROE	8.2%	10.4%*	9% 程度
ROA	0.7%	0.9%*	0.8% 程度
自己資本比率	10.27%	10.27%	10% 程度

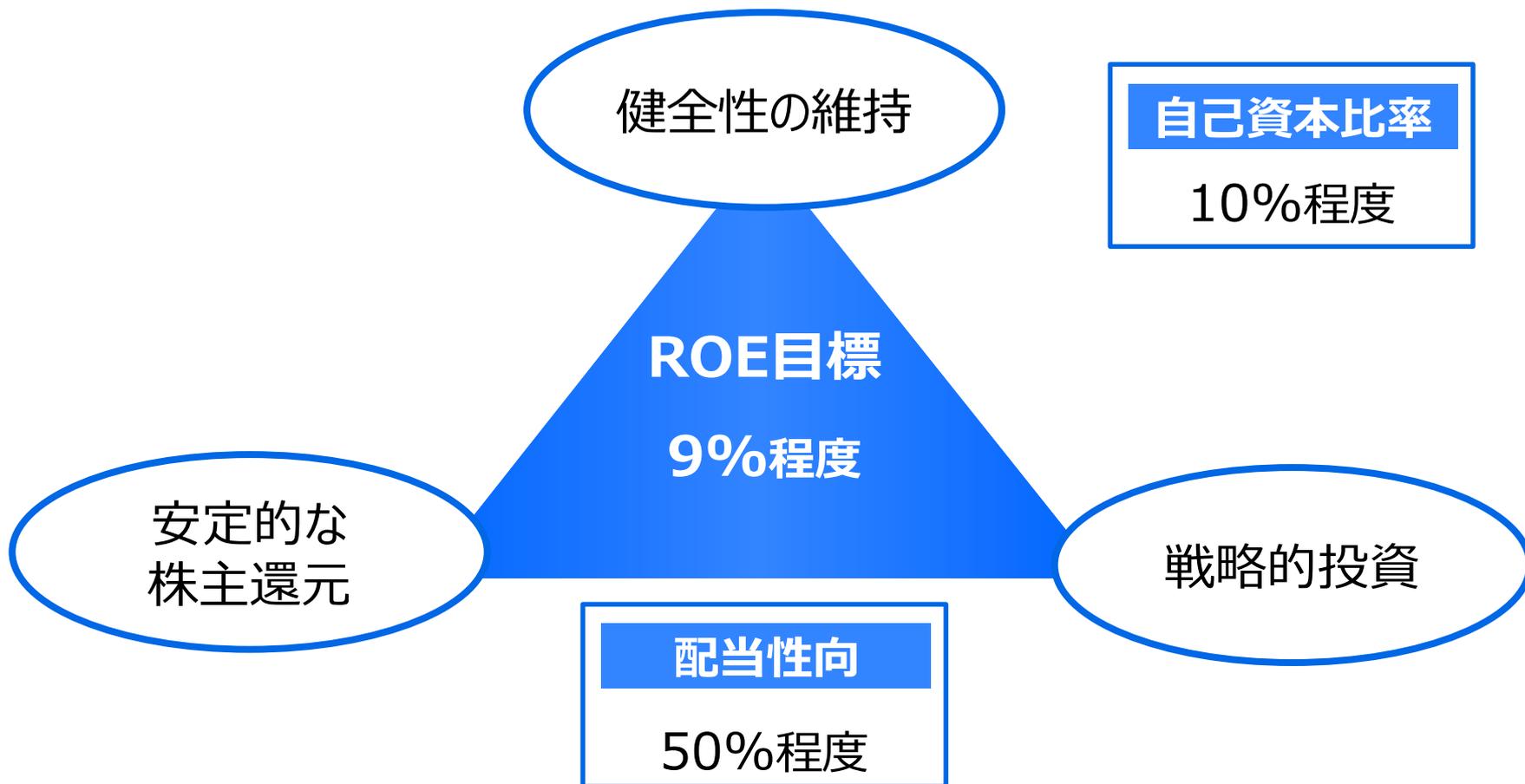
* 年換算ベース

I. あおぞら銀行とは

II. あおぞら銀行の目指す姿

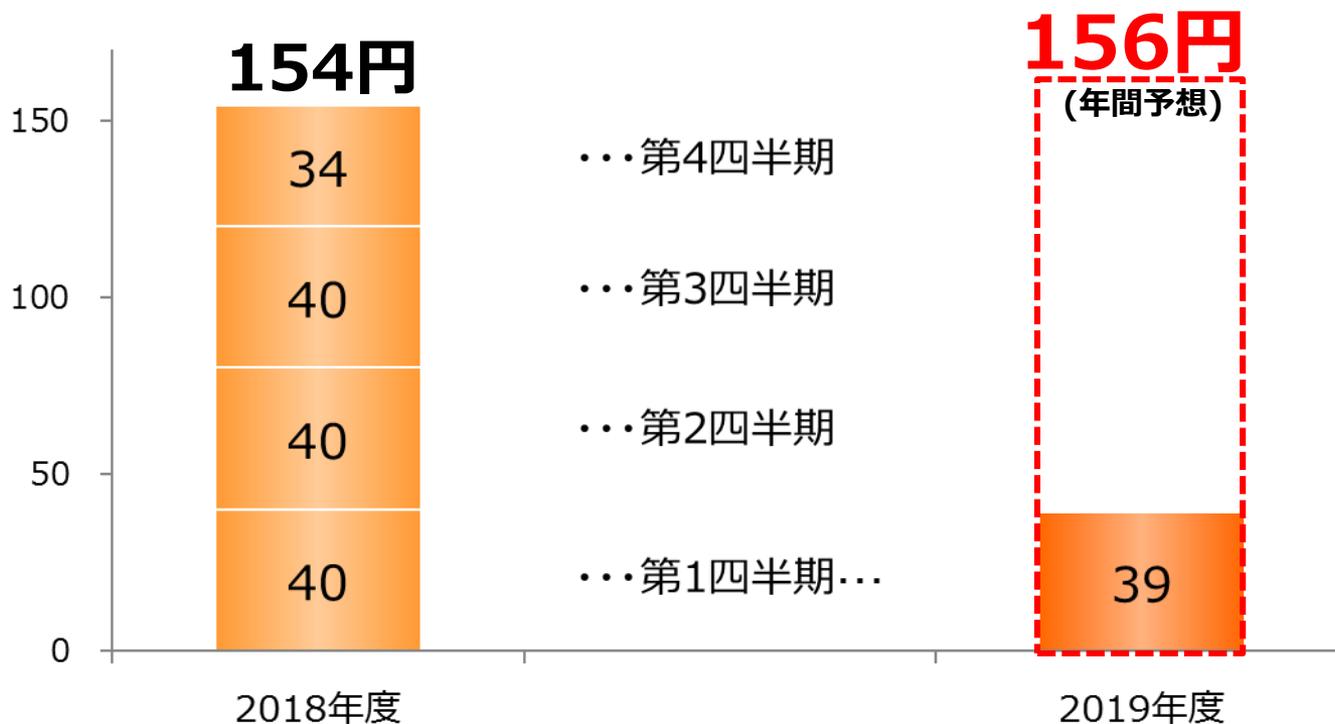
III. あおぞら銀行の株主還元

経営環境を踏まえつつ、健全性の維持・
安定的な株主還元・戦略的投資をバランス良く追求



◆ 株主還元は「配当による還元」を原則

- 業績に応じた還元と安定配当の維持を両立
- 配当性向は親会社株主純利益の**50%程度**
- **四半期配当**を継続



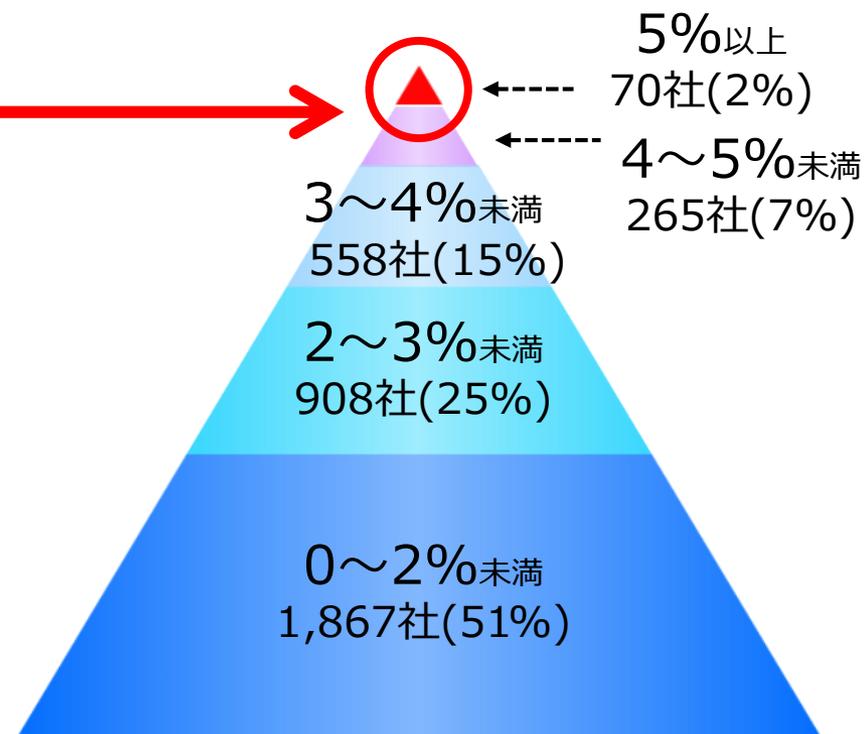
◆ 高い配当利回り

＜ 上場企業の予想配当利回り ＞
2019年7月31日現在

あおぞら銀行

配当利回り 6.25%

東証上場企業中 **上位10社以内**



予想配当利回り	全国銀行中 1位
四半期配当	全国銀行中 1行

* 東証上場企業3,668社対象（外国会社除く）。全国銀行は東証上場の銀行82行。

◆ 対象取引別に商品券を贈呈

- 対象 保有株式1単元以上の株主さま
- 基準日 3月末、6月末、9月末、12月末
- 内容 以下の取引に商品券を贈呈

円定期預金 (期間3ヶ月以上)	新規資金で500万円以上お預け入れ 頂いた株主さまに 商品券3,000円 贈呈
金融商品仲介 (仕組債等) *1,2	ご購入金額に応じて 商品券2,000円～60,000円 を贈呈 (購入金額100万円ごとに2,000円の商品券を贈呈)
投資信託 *2	

*1 あおぞら証券からの委託を受けてあおぞら銀行がお客さまとあおぞら証券との取引をお取次ぎする商品。
ご購入の際はあおぞら証券に証券口座の開設が必要。

*2 金融商品仲介（仕組債等）と投資信託はどちらか一方の取引にのみ利用可で、株主優待券1枚につき、
取引金額上限は3,000万円。

◆ 個人投資家向け説明会を全国各地で開催



◆ 個人投資家の皆さまにお伝えしたいこと

(1) 今年度目標の着実な達成

(2) 配当性向50%程度

(2019年度 配当予想：156円)

(3) 四半期ベースでの配当支払い

(4) 個人投資家の皆さまとのコミュニケーション強化

あおぞら銀行は
進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」として
“あおぞら”らしさに磨きをかけ
株主様のご負託に応える持続的な企業価値の向上
を実現してまいります

AOZORA



ご参考資料

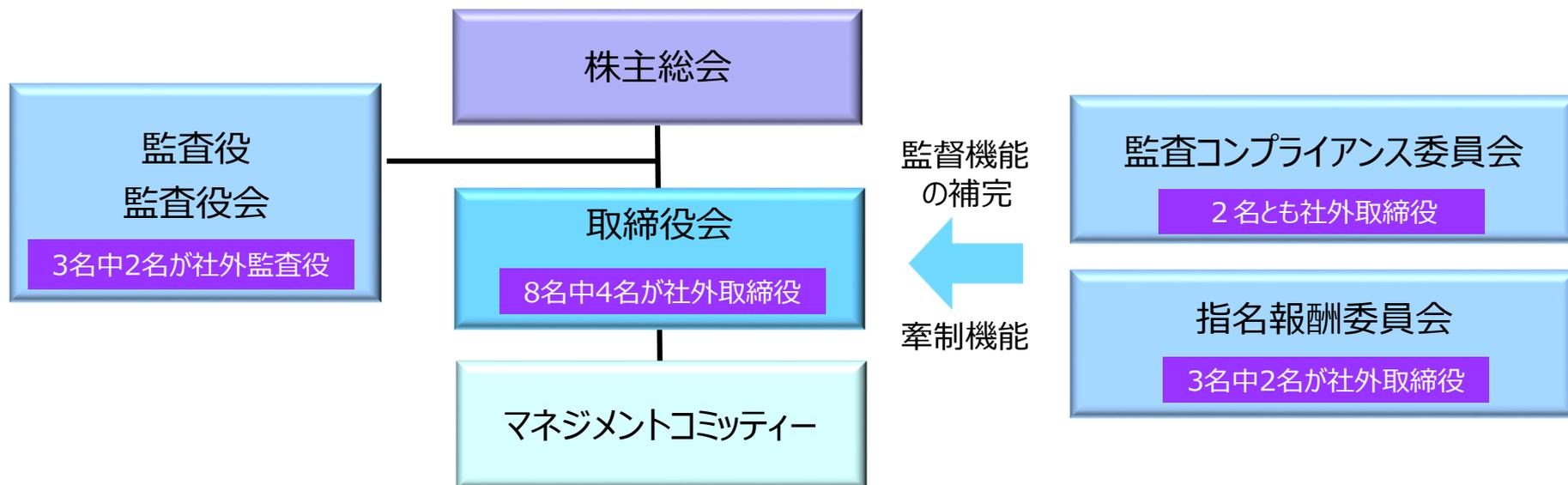
環境への取組み Environment

<p>CO2削減/使用電力削減への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 石炭火力発電所プロジェクト案件への取組み方針 : 先進国において低炭素・脱炭素社会に向けた取組みが進む中、金融機関としての責務をより明確にするべく、石炭火力発電所に対するプロジェクトファイナンスには、原則取り組まない。 ➤ 対前期比で電力使用量を10.3%削減
<p>再生可能エネルギー事業への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 再生可能エネルギーの利用・導入を促進する案件を積極的に支援

社会貢献 Society

<p>あおぞら銀行・上智大学提携プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「あおぞら上智シニア消費指数」の共同研究、連携講座「バンキング基礎演習」の開講等 ➤ フィナンシャル・ジェロントロジー(金融老年学)に関する共同研究の開始
<p>女性従業員の活躍推進への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 性別に関係なく、長く働ける職場環境を目指す <ul style="list-style-type: none"> • 平均勤続年数 : 女性14.4年、男性14.6年 (2019年3月) • 女性管理職比率 : 11.2% (2019年4月)
<p>地方創生・地域経済活性化への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域金融機関ネットワーク等を最大限活用 <ul style="list-style-type: none"> • あおぞら債権回収 : 事業再生ファンド設立・運営 • あおぞら地域総研 : 地方創生ビジネス、事業性評価、情報発信

牽制の効いたガバナンス体制 Governance



<取締役> 8名中4名が社外取締役

取締役 会長	福田 誠 元全国地方銀行協会副会長・専務理事
代表取締役 社長	馬場 信輔 1977年入行
代表取締役 副社長	谷川 啓 1985年入行
取締役 専務執行役員	芥川 知美 1985年入行

社外取締役	竹田 駿輔 元オリックス取締役兼執行役副会長・グループCFO
	水田 廣行 元りそな銀行代表取締役社長
	村上 一平 元日清製粉グループ本社代表取締役社長
	伊藤 友則 現一橋大学大学院教授

(単位：億円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	
			4-6月期	通期予想
連結粗利益	874	838	233	880
資金利益	490	502	126	—
役務取引等利益	113	129	19	—
特定取引利益	170	83	17	—
その他業務利益	99	122	69	—
経費	-468	-494	-123	-530
連結実質業務純益	406	344	110	350
与信関連費用	87	-10	44	—
株式等関係損益	80	132	11	—
その他の臨時損益	5	11	2	—
経常利益	579	477	168	510
親会社株主純利益	430	361	118	365

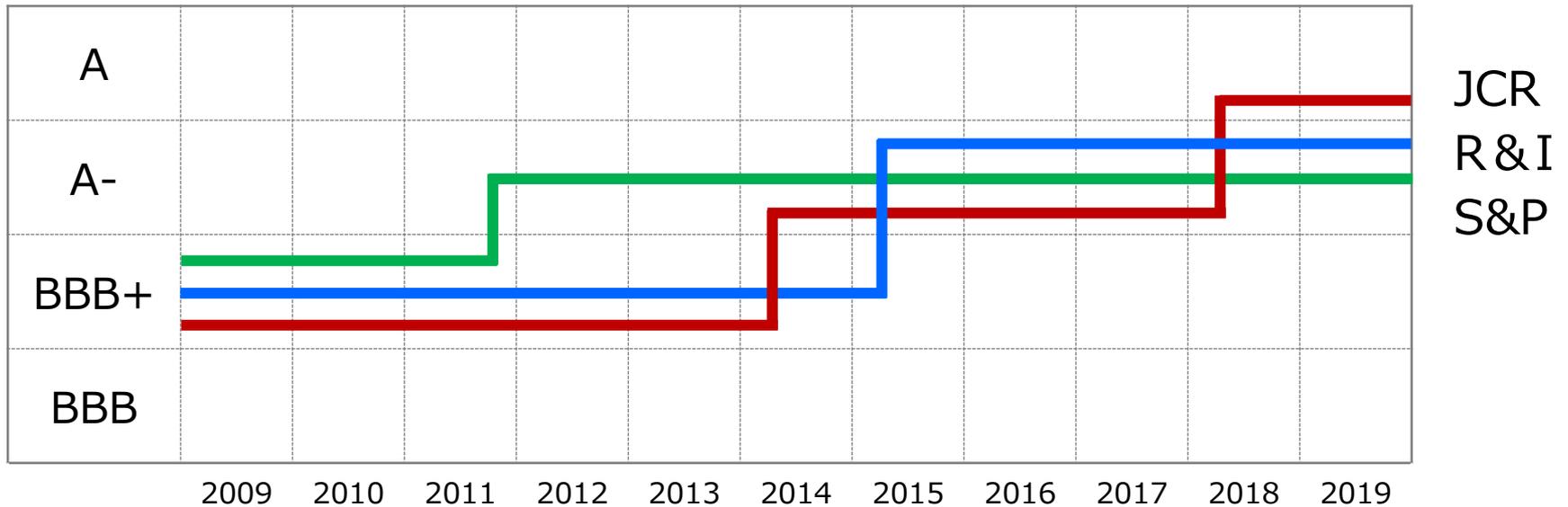
* 本資料においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社株主純利益」と記載しております

(単位：億円)

	2018年3月末	2019年3月末	2019年6月末
資産	49,127	52,550	52,979
貸出金	26,112	27,798	27,885
国内向け	16,381	16,872	17,071
海外向け	9,731	10,926	10,813
有価証券	11,398	12,408	12,671
うち日本国債	80	50	40
うち外国国債	2,280	2,614	2,800
負債	44,755	48,063	48,311
うち預金・譲渡性預金	29,709	32,307	32,235
うち債券・社債	2,575	2,839	2,820
純資産	4,372	4,487	4,667
うち資本金・資本剰余金	1,873	1,873	1,873
うち利益剰余金	2,431	2,590	2,669
負債・純資産	49,127	52,550	52,979

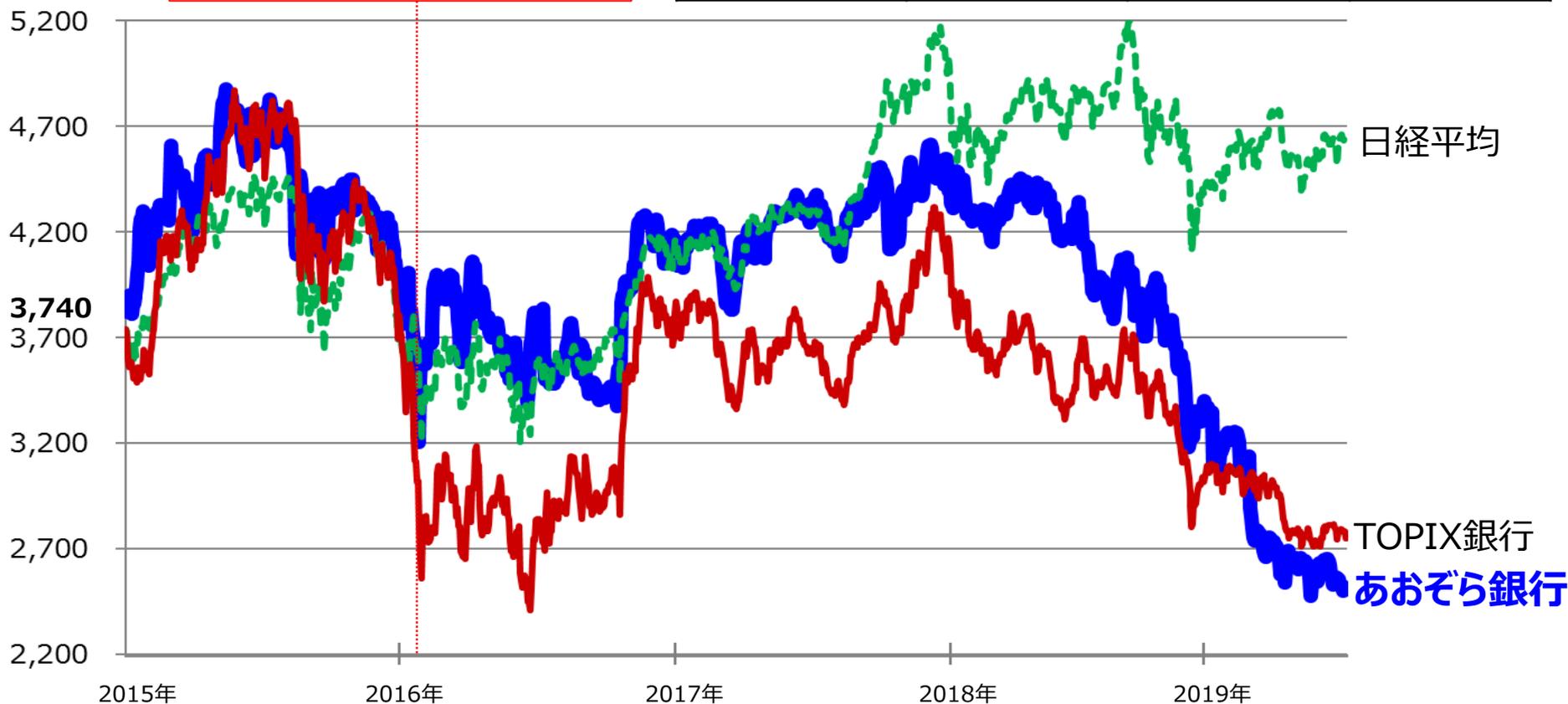
◆ 信用格付は格付会社3社から A 格取得

格付会社		長期格付
日本格付研究所	(JCR)	A
格付投資情報センター	(R&I)	A-
スタンダード&プアーズ	(S&P)	A-



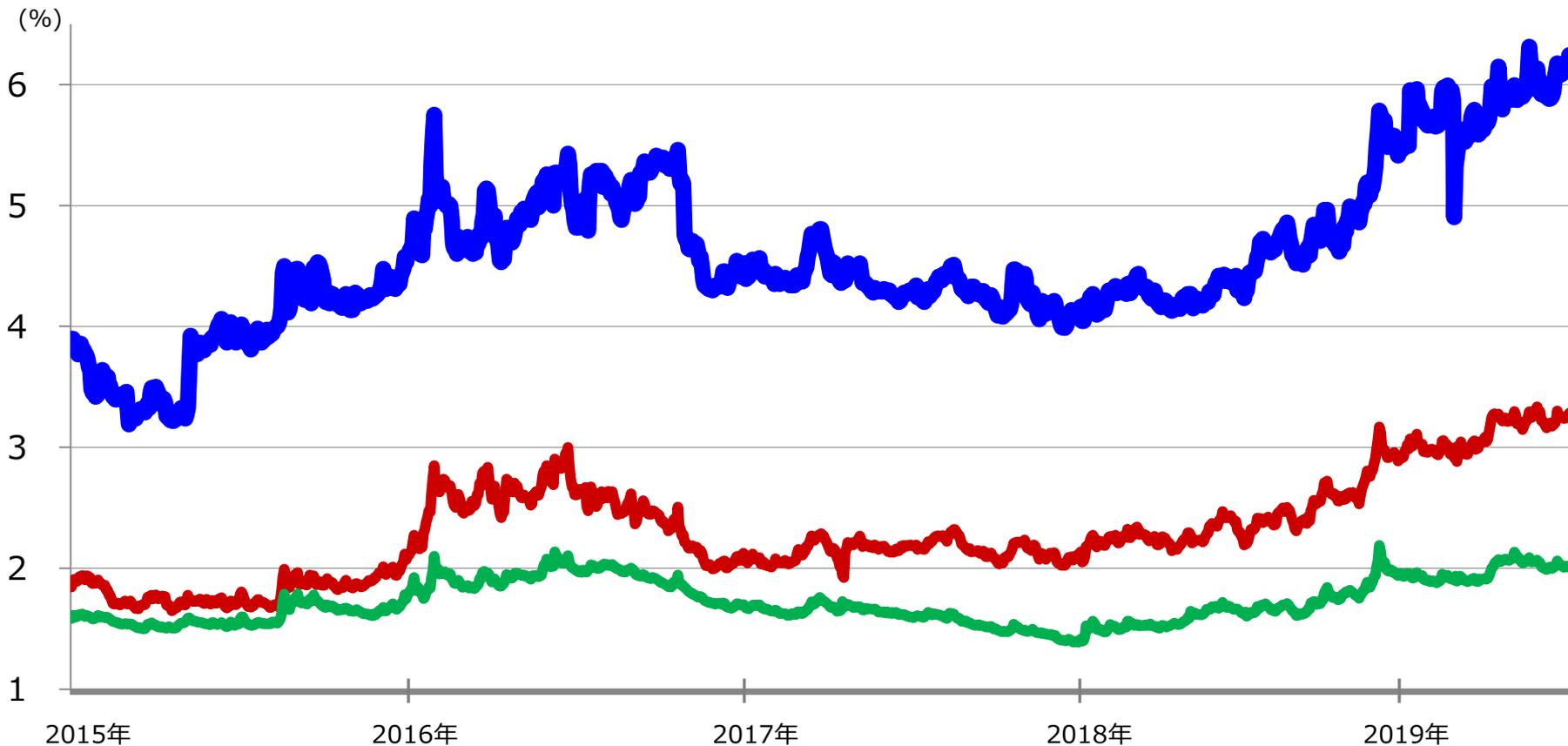
	2014/12/30 株価	2019/7/31 株価	変化率
あおぞら銀行	3,740	2,498	-33.21%
日経平均	17,450.77	21,521.53	23.33%
TOPIX銀行	188.96	138.73	-26.58%

マイナス金利公表 (2016/1/29)



* 2014/12/30の当行株価を基準に各株価を指数化(2017/10/1の株式併合を勘案)。2019/7/31現在

- 予想配当利回り（あおぞら銀行）
- 予想配当利回り（国内銀行平均）
- 予想配当利回り（東証上場企業平均）



* 東証上場企業3,668 社対象（外国会社除く）国内銀行は東証上場の銀行82行。2019/7/31現在

https://www.aozorabank.co.jp/ir/individual/gaiyou/

いつも、あおぞらを。

よくあるご質問 | お問い合わせ先一覧 | サイトマップ | ENGLISH

 あおぞら銀行 金融機関コード:0398

文字サイズ 小 中 大 キーワードを入力してください

個人のお客さま

法人のお客さま

株主・投資家の皆さま

あおぞら銀行について

採用情報

[トップページ](#) > [株主・投資家の皆さま](#) > [個人投資家の皆さまへ](#)

株主・投資家の皆さま

個人投資家の皆さまへ

- [あおぞら銀行早分かり](#)
- ▶ [あゆみ](#)
- ▶ [プロフィール](#)
- ▶ [ネットワーク](#)
- ▶ [目指す姿](#)
- ▶ [ビジネスモデル](#)
- ▶ [注力業務](#)
- ▶ [業績・財務のポイント](#)
- ▶ [投資の魅力（株主還元）](#)
- [個人投資家向け説明会](#)
- [あおぞら銀行株式のご購入について](#)
- [経営方針・体制等](#)
- [IRライブラリ](#)
- [株式関連情報](#)
- [IRカレンダー](#)

個人投資家の皆さまへ

あおぞら銀行って、どんな銀行？

全国展開している、系列色のない中立的な銀行です。
メガバンクでも地域金融機関でもなく
ユニークで専門性の高い金融サービスを提供しています。

 あゆみ

 プロフィール

 ネットワーク



あおぞら銀行
早わかり

 目指す姿

 ビジネスモデル

 注力業務

 業績・財務のポイント

 投資の魅力（株主還元）



個人投資家の皆さまに当行の事業内容や業績・成長戦略についてご理解を深めていただくとともに、当行の経営陣と直接コミュニケーションを持っていただく機会を設けるため、積極的に説明会を開催しております。

< ご連絡・ご照会先 >

株式会社あおぞら銀行

コーポレートコミュニケーション部

電話 : 03-6752-1111 (代表)

URL : <https://www.aozorabank.co.jp>

当資料には、当行の財務状況や業績など将来の見通しに関する事項が含まれています。こうした事項には当行における将来予想や前提が含まれており、一定のリスクや不確実性が生じる場合があります。具体的には、経済情勢の変化や金利・株式相場・外国為替相場の変動、およびそれらに伴う保有有価証券の価格下落、与信関連費用の増加、事務・法務その他リスクの管理規則の有用性などにより、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。